

直腸がん

内肛門括約筋切除術による究極の肛門温存手術

腫瘍が肛門に浸潤しても肛門機能残すメスさばき

直腸がんといふ一人潤する直腸がんでも、自ら肛門にならぬか、一分の肛門が残せるようにと心配するのは、もはやなつたのだ。

昔の話、いまや「内肛門」(肛門の一部)内肛門括約筋切除術による「肛門」(約筋)を切除した上で肛門温存手術が登壇し、腫門とS状結腸をつないで、肛門まで広がり、さも、肛門の機能は十分に保てるからです。



まさに「究極の肛門温存手術」であり、その普及に努める次代の大腸肛門外科のリーダーが、この人である。手がけた手術はすでに60件

船橋 公彦 准教授 (東京大学医学部消化器外科グループ)

以上のほり、確実に腫瘍を切除しながら肛門機能を残すメスさばきは、超一流との折り紙付きだ。

「かつては直腸がんが発見された場合、腹会陰式直腸切除術で直腸と肛門を一塊として切除し、永久の人工肛門を造設しなければなりません。しかし、1980年

「かつては直腸がんが発見された場合、腹会陰式直腸切除術で直腸と肛門を一塊として切除し、永久の人工肛門を造設しなければなりません。しかし、1980年

患者の8割が満足だが、便やガス漏れの支障も

内肛門括約筋切除術で求められるのは、単に腫瘍を切除する直腸がん手術の優れたウテだけでは、だめでなく痔核や痔瘻など、肛門機能にかかわる肛門周囲の瘻管や機能幅広い領域にわたる手術にも熟知していることが必要。具体的には、がん



この手術の利点と欠点を十分に理解した上で、なかから自前の肛門を残したいと強く望むなら、内肛門括約筋切除術による肛門温存手術がお勧めかもしれない。

避けるようになった。ちの内肛門括約筋の一部を切除しても、残った内肛門の温存(人工肛門)で肛門括約筋と外肛門括約筋の位置やサイズを問わず、肛門括約筋への腫瘍浸潤の程度などを、一つ一つ確かめながら安全に手術を進められるという利点があります。最近では腹腔鏡手術でも可能になりました。

重要なのは、患者の8割が満足しているもの、時に便やガス漏れが生じ、日常生活に支障を来す患者もいるという事実だ。

最前線医師を直撃
がん治療
ここまでやれる?

<23>

病理の専門医でも乳がんはと良性の乳頭腫との区別をつけるのは難しい

スで切り取る切除生検が、一方で、食生活の欧米化、乳房に太い針を刺